

平成25年5月28日

参 考 資 料

(県政・相模原・平塚・藤沢・厚木・大和記者クラブ、町田記者会同時発表)

厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会の開催結果について

本日、標記協議会が設置され、第1回協議会が開催されましたのでお知らせします。

日 時 平成25年5月28日(火)13時30分～14時30分

場 所 横浜第2合同庁舎1階 共用第2会議室(横浜市中区北仲通5-57)

出席者 南関東防衛局長、副知事及び厚木基地周辺市副市長等

1 協議会の設置

協議会設置要綱案について国側から説明があり、全会一致で承認された。

2 第1回協議会の開催

(1) 国からの説明

ア 厚木飛行場からの空母艦載機の移駐に係る進捗状況について

これまで地元や米軍と話し合いを行ってきたが、整備予定住宅約1,060戸のうち約270戸を愛宕山地区に、残り約790戸を岩国飛行場内に建設する予定。岩国飛行場内では今ある施設を移設しながら住宅を建設する玉突き工事となり、また、昨年用地を取得した愛宕山地区も平成25年度予算で造成の経費を計上しているが、完成は平成29年頃となる。防衛省としては、引き続き一日も早く実施するよう最大限努力していく。

イ 空母艦載機着陸訓練(FCLP)が実施可能な自衛隊施設の整備について

南西地域を含む防衛態勢の充実や大規模災害への対処といった自衛隊施設整備に係る条件と、岩国基地から一定のエリアに位置し周辺への騒音等の影響が少ないといった条件により、馬毛島を検討対象とすることで、日米安全保障協議委員会で合意している。関係自治体や地権者と調整を続けている。

ウ 厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担軽減策について

住宅防音工事については、今後、予算や対象年次の拡大などについて、住民の意向を伺いながら進めていきたい。

(2) 自治体からの発言

協議会の設置については、一定の評価をしたい。

基地負担を強いられている地元住民の強い思いを受け止め、1日でも早く空母艦載機の移駐を完了させるよう、最大限努力をしてほしい。

移駐までの間においても、実効性ある騒音軽減策を講じてほしい。

今後も施設整備及び恒常的訓練施設の進捗状況等について、関係自治体に対し、きめ細やかな情報提供を行ってほしい。

この協議会については継続的に開催し、協議結果については、秋の厚木基地騒音対策協議会に報告したいと考えている。

問い合わせ先

厚木基地騒音対策協議会事務局

(神奈川県政策局基地対策部基地対策課)

課長 井上 (045)210-3370

対策推進グループ 浅岡 (045)210-3375